

データセキュリティをシンプルに実現する Actifile

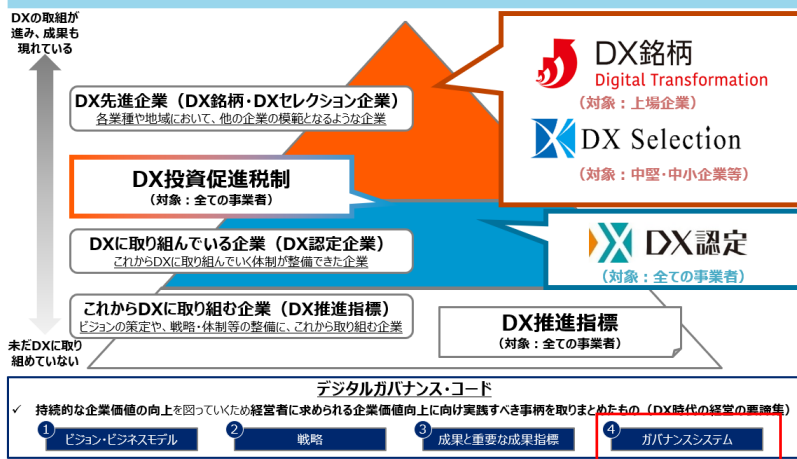
我々が直面しているサイバーセキュリティ脅威は日々変化しており、その対策も終わりのないものとなっています。DX（デジタルトランスフォーメーション）により企業の情報資産が今まで以上に重要となった現在では、サイバー攻撃から情報資産を守るために各々の情報に対するリスク度合いの明確化とそれに応じたデータ保護の強化と管理を行うことが求められています。

背景：企業のDXに伴う、情報資産の把握と管理の必要性

近年、企業の情報資産とデジタル技術を活用して、ビジネスを変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）が進められています。経済産業省はDXの推進において実践すべき事項をまとめたデジタルガバナンス・コードを取りまとめ、企業はデジタルガバナンス・コードに準じた活動を期待されています。この活動ではサイバーセキュリティに対して適切に対応することを求められており、企業は情報資産をサイバー攻撃から守りながらDXを推進する必要があります。そのためには潜在的リスクや情報資産の所在を常に明確にして保護・管理できるツールを導入することが重要です。

企業DX推進施策の全体像

- 企業のDXレベルに合わせて、企業認定や優良企業選定などの施策を提供。



④ガバナンスシステムの要件内で、「企業レベルのリスク管理と統合したデジタル・セキュリティ対策、個人情報 保護対策やシステム障害対策を企業・規範・技術など全方位的に打っている。」との記載。

出典：経済産業省 https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dx.html?_fsi=aYr6ZBqn

データセキュリティによる情報資産の把握と管理が重要

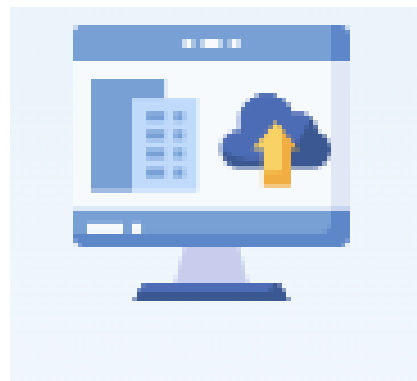




actifileは企業のリスク度合いを明確化し、情報資産の保護・管理を実現します

リスクを評価し管理する

actifileは全てのデータをスキャンすることで、企業のリスク評価し、情報資産の所在を把握、自動で分類と暗号化を実施します。またデータの送受信や情報資産の作成など、全てのデータ関連のイベントを自動的にログに記録するので、管理者はユーザーがデータに対して行ったアクションを把握することができます。



データ漏洩防止（DLP）

actifileは事前定義されたルールに基づき、情報資産を特定し自動的に暗号化を行います。ユーザーは特別な知識やメンテナンスなしで、あらゆる脅威から情報資産を守り、外部攻撃、内部攻撃のリスクを最小限に抑えるためのアプローチを実現できます。



暗号化

actifileは万が一データが盗まれたり、紛失した場合でも、actifile採用のAES256暗号化メカニズムにより、悪意あるものがファイルを開いたり使用することを防ぎます。



企業を情報漏洩から守るデータセキュリティをご検討ください
ご相談は cyber@aisan-is.jp まで